

動物用医薬品の使用記録簿（記入例）

農場名： _____ 畜種： _____ 年度： _____ 記入者： _____

使用を始めた日	最後に使った日	使用場所（畜舎・房）	対象動物の種類・月齢	頭羽数	特徴（耳標・マーキングなど）	医薬品の名称	用法・用量	休薬期間（日）	出荷できる日（自動）	指示書（獣医師）	使用者
2026/9/1	2026/9/1	肥育牛舎 2号房	肥育牛・27か月齢	1	耳標末尾1234	〇〇注射液	体重1kg当たり〇mgを1回筋肉注射	10	2026/9/12	有（〇〇獣医師）	山田
2026/9/4	2026/9/10	育成豚舎 1～4房	育成豚・80日齢	120	1～4房の全頭	△△散	飼料1t当たり〇gを混ぜて7日間経口投与	5	2026/9/16	有（〇〇獣医師）	佐藤
2026/9/8	2026/9/8	肥育豚舎 3号房	肥育豚・160日齢	3	背中に赤スプレー	□□注射液	体重1kg当たり〇mgを1回筋肉注射	7	2026/9/16	有（〇〇獣医師）	佐藤

- 休薬期間（使用禁止期間）は、必ず医薬品の容器・添付文書と、獣医師の指示書で確かめてください。「出荷できる日（自動）」は、最後に使った日に休薬期間の日数を足した翌日です（例 9/1に使い休薬期間10日なら 9/12）。Excel では計算式が入っていて自動で出ます。
- 乳・卵の出荷の制限が時間で示されている医薬品や、獣医師が別の出荷制限期間を指示した場合は、自動の日付を使わず、指示に従って書き直してください。
- 投薬した家畜は、耳標の番号やスプレーなどで見分けられるようにし、出荷の前に「出荷前の確認」シートで休薬期間が過ぎているかを確認めます。
- 記入例の医薬品名・人名は架空のものです。用法・用量の〇は、添付文書の内容を書く欄です。